

検査項目名	略称	基準範囲			説明
		男性	女性	単位	
肝臓・胆嚢・膵臓に関する検査					
総蛋白	TP	6.6-8.1		g/dL	栄養状態、肝・腎障害などの指標です。
アルブミン	Alb	4.1-5.1		g/dL	栄養状態の悪化や肝・腎障害の程度を反映して低下します。
A/G比	A/G	1.32-2.23			アルブミンとグロブリンの成分比。免疫疾患などの病態把握に用いられます。
ALBI score		設定なし			アルブミンと総ビリルビン値から計算される数値で、肝予備能の評価に用いられます。
Fib-4 index		設定なし			AST、ALT、血小板数、年齢から計算される数値で、肝線維化の評価に用いられます。
総ビリルビン	T-Bil	0.2-1.2		mg/dL	黄疸の有無、程度の判定に用います。
直接ビリルビン	D-Bil	0.0-0.4		mg/dL	肝細胞障害、胆汁うっ滞で高値になります。
アスパラギン酸 アミノトランスフェラーゼ	AST	13-30		U/L	肝細胞、筋肉、赤血球の障害の指標です。
アラニン アミノトランスフェラーゼ	ALT	10-42	7-23	U/L	肝細胞が障害されると高値になります。
乳酸脱水素酵素（IFCC法）	LD_IFCC	124-222		U/L	肝臓・心臓など様々な臓器の障害の指標です。
アルカリフォスファターゼ （IFCC法）	ALP_IFCC	38-113（21歳以上） 20歳以下は年齢別に設定しています		U/L	肝胆道系疾患、骨疾患、妊娠などで上昇します。
ガンマグルタミル トランスフェラーゼ	γ-GT	13-64	9-32	U/L	アルコール性肝障害、胆道系疾患、肝内胆汁うっ滞などで高値になります。
コリンエステラーゼ	CHE	240-486	201-421	U/L	主に肝疾患により低下し、有機リン中毒でも低値となります。
アミラーゼ	AMY	44-132		U/L	主に膵臓・唾液腺の障害を反映します。
アンモニア		<u>27.2-102</u>	<u>18.7-86.9</u>	μg/dL	主に肝臓でのアンモニアの代謝障害で上昇します。
インドシアニングリーン試験	ICG	【15分値】 0.00～0.10		mg/dL	肝臓の解毒能力がわかります。

検査項目名	略称	基準範囲			説明
		男性	女性	単位	
腎臓に関する検査					
尿素窒素	UN	8-20		mg/dL	腎機能の指標です。
尿酸	UA	3.7-7.0	2.6-7.0	mg/dL	腎障害、痛風などで高値になります。
クレアチニン	CRE	0.65-1.07	0.46-0.79	mg/dL	腎機能の指標です。
クレアチニンクリアランス （内因性）	Ccr	93.0-238.0		L/day	腎機能の指標です。
推算 G F R （糸球体濾過値）	eGFR	設定なし		mL/min/ 1.73m ²	腎機能（糸球体濾過量）の推定と慢性腎臓 （CKD）のstage分類に用います。
β2ミクログロブリン	β2MG	2.0 以下		μg/mL	腎機能障害（糸球体濾過量の低下）の指標で す。
ナトリウム	Na	138-145		mmol/L	Na・水代謝異常の指標です。
カリウム	K	3.6-4.8		mmol/L	神経伝達や筋収縮に関与し、生命活動に維持調 節に重要な電解質です。
クロール（塩素）	Cl	101-108		mmol/L	酸塩基平衡障害の指標です。
カルシウム	Ca	8.8-10.1		mg/dL	骨・腎臓・副甲状腺の指標です。
無機リン	IP	2.7-4.6		mg/dL	
マグネシウム	Mg	1.6-2.6		mg/dL	腎臓や甲状腺機能の指標です。
血清浸透圧	OSM	284-294		mOsm/L	Na・水代謝異常の指標です。
金属・鉄代謝に関する検査					
血清鉄	Fe	64-187	40-162	μg/dL	貧血の原因疾患の鑑別や肝臓障害の指標です。
不飽和鉄結合能	UIBC	104-259	108-325	μg/dL	貧血の原因疾患の鑑別の指標です。
総鉄結合能	TIBC	253-365	246-410	μg/dL	
フェリチン		39.9-465.0	6.2-138.0	ng/mL	組織の貯蔵鉄量を反映する指標です。
亜鉛		80-130		μg/dL	亜鉛の欠乏や中毒の診断（味覚障害など）に用 います。

検査項目名	略称	基準範囲			説明
		男性	女性	単位	
脂質・糖代謝に関する検査					
総コレステロール	T-Cho	142-248		mg/dL	高脂血症・動脈硬化などで高値になります。
HDL-コレステロール	H-Cho	40-90	40-103	mg/dL	いわゆる「善玉コレステロール」抗動脈硬化作用をもっています。
LDL-コレステロール	L-Cho	65-139		mg/dL	いわゆる「悪玉コレステロール」高くなると動脈硬化症の原因となります。
トリグリセリド（中性脂肪）	TG	40-149	30-149	mg/dL	高くなると動脈硬化症の危険因子となります。
LDL-コレステロール (Friedewald式)	LDL (F式)	設定なし		mg/dL	LDLコレステロールの推算式です。中性脂肪が400mg/dL以下のときに適用される計算式です。
LDL-コレステロール (Sampson式)	LDL (S式)	設定なし		mg/dL	LDLコレステロールの推算式です。中性脂肪が800mg/dL以下のときに適用される計算式です。
Non-HDLコレステロール	Non-HDL	設定なし		mg/dL	総コレステロールからHDLを引いた値です。脂質異常症の診断に用いられます。
空腹血糖		73-109		mg/dL	糖尿病の基本的な検査です。
ヘモグロビンA1c (糖化ヘモグロビン)	HbA1c (NGSP)	4.6-6.2		%	糖尿病の診断に用いられます。過去1～3カ月の長期血糖コントロールの指標です。
グリコアルブミン (糖化アルブミン)	GA	11-16		%	過去1～2週間の血糖コントロールの指標です。
心筋・心機能・筋疾患に関する検査					
クレアチンキナーゼ	CK	59-248	41-153	U/L	骨格筋や心筋の破壊を反映して上昇します。
クレアチンキナーゼ (心筋型)	CK-MB	0-12		U/L	急性心筋梗塞などの心筋疾患の診断、経過の把握に有用です。
トロポニンT		0.014 以下		ng/mL	急性心筋梗塞などの心筋疾患の診断、経過の把握に有用です。
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント	NTProBNP	125 未満		pg/mL	心不全で上昇するマーカーです。

検査項目名	略称	基準範囲			説明
		男性	女性	単位	
免疫に関する検査					
C反応性蛋白	CRP	0.3 以下		mg/dL	炎症や組織破壊の指標です。
KL-6		500以下		U/mL	間質性肺疾患で高値を示し、臨床的活動性を反映します。
ロイシンリッチα2 グリオブロテイン	LRG	16 以下		μg/mL	潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患で上昇します。
可溶性インターロイキン-2 受容体	sIL-2R	156.6-474.5		U/mL	主にリンパ腫の病態モニタリングに用いられます。
プロカルシトニン	PCT	0.05 未満		ng/mL	細菌感染すると上昇します。
リウマチ因子 (リウマトイド因子)	RF	15 以下		IU/mL	関節リウマチやその他自己免疫疾患で、陽性になります。
マトリックスメタロ プロテイナーゼ-3	MMP3	36.9-121.0	17.3-59.7	ng/mL	関節リウマチの疾患活動性の評価、骨・関節破壊の予後予測の指標です。
補体価	CH50	31.6-57.6		U/mL	自己免疫疾患・感染症の指標です。
免疫グロブリンG	IgG	870-1700		mg/dL	抗体（免疫グロブリン）で、主に感染防御に働きます。
免疫グロブリンM	IgM	35-220		mg/dL	
免疫グロブリンA	IgA	110-410		mg/dL	
クリオグロブリン		陰性			異常タンパクの一種で、主にクリオグロブリン血症（クリオフィブリノーゲン血症）や膠原病などの免疫疾患で検出されます。
クリオフィブリノーゲン		陰性			
腫瘍マーカー検査	腫瘍マーカーの結果だけで「がんがある」とは断定できません。				
α-フェトプロテイン	AFP	10.0 以下		ng/mL	主に肝がんで上昇します。
癌胎児性抗原	CEA	5.0 以下		ng/mL	主に胃や大腸などの消化器系のがんや肺がんなどで上昇します。
CA19-9		37.0 以下		U/mL	主に膵臓や胆道系のがんで上昇します。
前立腺特異抗原	PSA	4.0 以下		ng/mL	前立腺がんで上昇します。
ガストリン放出ペプチド 前駆体	ProGRP	74.7 未満		pg/mL	神経内分泌腫瘍とくに肺小細胞癌で上昇します。
神経特異エノラーゼ	NSE	16.3 以下		ng/mL	神経芽腫および網膜芽腫や肺小細胞癌で上昇します。
扁平上皮癌関連抗原	SCC抗原	2.5 以下		ng/mL	各種臓器の扁平上皮癌の診断、治療効果、経過観察のモニタリングとして有用です。

検査項目名	略称	基準範囲			説明
		男性	女性	単位	
内分泌代謝に関する検査					
甲状腺刺激ホルモン	TSH	0.500-5.000		μIU/mL	甲状腺ホルモンの異常がわかります。甲状腺機能亢進（バセドウ病）や機能低下（橋本病）などで異常値を示します。
遊離サイロキシン	FT4	0.90-1.70		ng/dL	
遊離トリヨードサイロニン	FT3	2.3-4.0		pg/mL	
副甲状腺ホルモン	PTH-intact	10-65		pg/mL	副甲状腺の機能を調べる項目です。カルシウムやリンの代謝に関与します。
ヒト絨毛性ゴナドトロピン	HCG	5.0 以下		mIU/mL	妊娠の早期確認、流産、子宮外妊娠や絨毛性疾患の診断、治療効果の指標となります。
プロゲステロン		0.2 以下	女性の場合は性周期により異なります。	ng/mL	黄体機能不全、妊娠初期の診断、切迫流産の予後判定、胎盤機能の指標などに有用です。
エストラジオール	E2	14.6-48.8		pg/mL	卵巣胎盤機能とくに卵胞発育の状態をよく反映します。
黄体形成ホルモン	LH	1.7-8.6		mIU/mL	LH、FSHは下垂体性性腺刺激ホルモンとして共同で作用し、性腺機能異常の診断と評価に有用です。
卵胞刺激ホルモン	FSH	1.5-12.4		mIU/mL	
プロラクチン		4.29-13.69		ng/mL	女性の乳汁分泌異常、男性の性腺機能低下や視床下部・下垂体領域の疾患で異常値を示します。
成長ホルモン	GH	0.00-2.47	0.13-9.88	ng/mL	下垂体性小人症、末端肥大症の診断、治療効果判定など視床下部・下垂体機能の指標となります。
副腎皮質刺激ホルモン	ACTH	7.2-63.3		pg/mL	コルチゾールやアルドステロンなどの分泌を調節するホルモンです。
コルチゾール		7.1-19.6 (午前6-10時)		μg/dL	糖、脂質、タンパク質の代謝や血圧の調節に関わるホルモンです。
アルドステロン		4.0-82.1		pg/mL	腎臓に作用し、体の水分量やナトリウム、カリウムの調節を行うホルモンです。
レニン濃度		2.21-39.49		pg/mL	血圧を上げるための手助けをする酵素です。

検査項目名	略称	基準範囲			説明
		男性	女性	単位	
感染症検査					
B型肝炎に関する項目					
HBs抗原	HBsAg	(－)		IU/mL	現在B型肝炎ウイルスに感染しているかがわかります。
HBs抗体	HBsAb	(－)		mIU/mL	過去にB型肝炎ウイルスに感染したことがあるか、またはB型肝炎ワクチンを接種したことがあるかがわかります。
HBc抗体	HBcAb	(－)		COI	過去にB型肝炎ウイルスに感染したことがあるかがわかります。
HBV核酸定量 (HBV DNA TaqMan PCR)	HBV Taq	検出せず		LogIU/mL	リアルタイムPCR法により高感度にB型肝炎ウイルスの量を調べ、治療効果を判定します。
C型肝炎に関する項目					
HCV抗原/抗体		(－)			現在C型肝炎ウイルスに感染しているか、または過去にC型肝炎ウイルスに感染したことがあるかがわかります。
HCV核酸定量 (HCV TaqMan PCR)	HCV Taq	検出せず		LogIU/mL	リアルタイムPCR法により高感度にC型肝炎ウイルス量を調べ、治療効果を判定します。
HIVに関する項目					
HIV抗原抗体	HIV Ag/Ab	(－)			ヒト免疫不全ウイルスに感染しているかがわかります。
HIV核酸定量 (HIV-1 TaqMan PCR)	HIV-1 Taq	検出せず		copy/mL	リアルタイムPCR法により高感度にHIV-1のウイルス量を調べ、治療効果を判定します。
梅毒に関する項目					
RPR定性		(－)			梅毒に感染しているかがわかります。
RPR定量		1.0 未満		R.U.	
TP抗体定性	TPAb定性	(－)			
TP抗体定量	TPAb定量	1 .0未満		COI	
新型コロナウイルスに関する項目					
SARS-CoV-2抗原	CoV2Ag 判定	(－)			SARS-CoV-2に感染しているかがわかります。
	CoV2Ag (COI)	1 .0未満		COI	

検査項目名	略称	基準範囲			説明
		男性	女性	単位	
血中薬物検査	薬の投与には個人差が伴います。そのため効果が最大限に発揮され、かつ副作用が出ない血中濃度を調べます。トラフとは投薬前の血中濃度のことです。				
カルバマゼピン		【トラフ】 4.0-12.0	μg/mL	抗てんかん薬です。	
フェノバルビタール		【トラフ】 15.0-40.0	μg/mL		
フェニトイン		【トラフ】 10.0-20.0	μg/mL		
バルプロ酸ナトリウム		【トラフ】 50.0-100.0	μg/mL		
ジゴキシン		【トラフ】 0.50-1.50	ng/mL	強心剤です。	
テオフィリン		【トラフ】 8.0-20.0	μg/mL	気管支拡張剤です。	
バンコマイシン		【トラフ】 5-10 【ピーク】 20-40	ng/mL	抗生物質です。	
テイコブラニン		【トラフ】 15-30	μg/mL	抗生物質です。	
アセトアミノフェン		【トラフ】 5.0-20.0	μg/mL	解熱剤・鎮痛剤です。	
シクロスポリン	シクロ	【トラフ】 50-200	ng/mL	免疫抑制剤です。	
タクロリムス	タクロ	【トラフ】 5.0-20.0	ng/mL		
エベロリムス		【トラフ】 3.0-8.0	ng/mL		
メトトレキサート		中毒域 【24時間後】 10.0以上 【48時間後】 1.0以上 【72時間後】 0.1以上	μmol/L	抗がん剤・抗リウマチ薬です。	